

保育だより

2022年 10月号

社会福祉法人いずみ会

幼保連携型認定こども園

つるた乳幼児園

園長 福澤 紀子

北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2

電話 0173 (22) 3765

“大切な存在”

保育教諭 松山 彩乃

私の弟はダウン症で現在34歳になりました。仲間と共に鶴東館で作業しています。この作文は私が小学校3年生の時に書いたものです。私自身まだまだ未熟で足りない部分も多いですが、弟を思う気持ちと同じように一人一人の子ども達の思いを大切に、これからも「本物の愛、を心に留めながら子ども達の個性を受け止めていきたいです。そして一人一人と向き合い、差別のない教育・保育を目指していきたいと思います。

『弟』

「あの(彩乃)。学校さ行くー。」

弟の直貴は、朝ご飯を食べると玄関にとんで行きます。そこには、弟と私のランドセルがあるからです。

弟の直貴は、小学校1年生です。4月に入学した時は、お母さんと私と3人で学校に通っていました。学校までは、私の足で15分位かかります。弟と一緒にだと30分くらいかかるのです。

弟はお母さんと一緒に楽しいのか草を見たり、水溜りを見たり、よその家の庭を見たりと道草ばかりします。朝は学校に遅れると困るので、私が「直貴、早く行くよ。彩乃、先に行ってもいい？」と弟に聞いても、弟は知らんぷりして言うことを聞いてくれません。

でも、学校に来ると、ジョギングも遊びも私のそばです。弟は、他の人と遊んだり話をしたりすることはありません。

弟は生まれた時からダウン症という病気です。4月に入学して間もなく、弟の顔を覗き込んで、「サルみたい」と言った男の子がいました。弟は何の事だか分からないので、その男の子の後ろを嬉しそうについて行きます。私は悔しくて涙が出そうでした。

朝の会の時、皆の前で朝の出来事を発表すると、学級の人達は、皆黙ってしまいました。すると先生が、「人間には、癖とか病気とか産まれつきのものが必ずあります。目に見えて分かるものや目に見えないもの。彩乃さんの弟は、目に見える病気なので皆に分かりますが、目に見えない人の方が多いのです。人をバカにする人は、人間として最低です。」と話してくれました。それからは、弟をバカにする人はいません。

弟は、お母さんより私の言うことをよく聞きます。だから、7月からは、弟は私と一緒に学校に来ています。

途中、同じ学級の男の子たちに会うと弟は「じじ、じじ。あっぱ、あっぱ」等と言いながら、喜んで歩いていきます。じじというのは、同じ学級の司君が弟の前でお爺さんの真似をしたからです。あっぱと呼ばれている卓也君は、何故なのだから分かりません。

学校に来ると、弟は、私の学級で自習が始まるまで遊んでいます。工作で作ったパチンコ台で遊んだり、紙飛行機を作って飛ばしたりします。

自習時間が始まると、弟は、自分のみどり学級に帰って行きます。でも、時々廊下に座って教室の私の顔を見て、なかなか帰らない時があります。そんな時は、私達の担任の先生に「直ちゃん、自習時間が始まったよ」と言われます。弟は、仕方ないなあというような顔で、自分の教室に走って行きます。私は、(弟は、先生が怖いんだ)と思うとおかしくなりました。

小さい頃から弟の怖いものは、雷だけだったからです。雷が鳴り出すと、お父さんやお母さん達は大変です。弟がそばにいる家の人にぴったりくっついて離れなくなるからです。どんなに忙しい時でも、弟はくっいたら最後、絶対離れません。顔をくっつけ、身体をくっつけられるだけピタリとくっつきます。くっつけられた人は、自分のやっていることを止めて、弟と一緒に雷が鳴り止むのを待つのです。そんな弟に、怖い人が出来たのがとってもおかしかったです。

弟は小さい時から動物が大好きです。この前、仕事の帰りにお父さんが、怪我をしたカモを見つけて来たのですが、2~3日すると、弟の手の平から餌を食べるようになりました。

びっくりして、お母さんに「直貴の手の上さ、カモ乗ってるよ」と教えると、お母さんも知っているのか「んだっきゃ。カモ、直貴でねばまいねぐなってしまったっきゃの」と直貴と手の上のカモを見ながら言いました。

弟の話すことは他の人には、はっきりと聞き取れないこともあるようですが、私と同じように、家で飼っている動物には分かるのです。

動物の世話をするのが好きな弟。「あの。あの」と小さい時から、私の後ろをついてくる弟。

私は、弟の直貴が大好きです。

私は、いつまでも仲の良い兄弟でいたいと思っています。



◆ 報 告 ◆

◎第 51 回運動会 9 月 10 日(土)

今年もまた、コロナ感染症予防の対策をとりながらの運動会でしたが、つくしからかなりやまでの全員参加で行うことができました。好天に恵まれ、子ども達は、日頃の力を発揮することができました。

◎第 3 回保育学校 9 月 16 日(金)

39 名の参加でした。

◎秋の遠足(ことり、すみれ) 9 月 21 日(水)

前日までの台風の影響が心配されましたが、予定通り、かなりやは園から、うぐいすは野木のローソンの先から、ひばりは尾原の無人野菜売り場から、すみれは、富士見湖パークの手前の入り口から歩いて、鶴の舞橋まで歩きました。コロナの影響で、かなりやさん以外は「富士見湖パークまで歩く」経験は初めてでしたが、それぞれに達成感を味わうことができました。

◆ 行 事 ◆

◎ 50 周年記念講話 10 月 1 日(土)午後 3 時

元、木造教会牧師であり、元木造保育所の園長の小池与之祐氏に「愛について」お話をさせていただきます。(園児、職員のみ参加)

◎ 50 周年記念全体写真

10 月 7 日(金) 雨天 13 日(土) 午前 10 時～

◎公開教育・保育 10 月 12 日(水)午前中

講 師：元鶴田小学校長 中村隆人先生

見学者：鶴田町教育長、保健師、町職員他園児の活動内容と保育教諭の教育、支援、援助内容を公開し質の向上に努めます。

◎カレーづくり 10 月 18 日(火)

作品展示月間の一環として収穫に感謝しカレーづくりを体験します。

◎読み聞かせフェア

10 月 22 日(土)国際交流会館 午前中
秋田県から谷京子先生をお招きし絵本の読み聞かせがあります。5 才児のみの参加です。

◎作品展示 10 月 26 日(水)～ 詳細は後日

◎幼児教育講座 鶴田保連主催

10 月 31 日(月)午前中
公民館において「科学で遊ぼう」と題して町内の 5 才児対象に開催されます。

◆ 消 息 ◆

◎東奥保育専門学校 2 年

阿部俊也さん、阿部優也さん

10 月 24 日～11 月 5 日まで実習します。

● 子育て支援センターより ●

◎リフレッシュタイム 10 月 5 日(水)